コミュニティバス グルーンの実績について

2023年2月9日 常滑市地域公共交通協議会 事務局 とことと任みたい 世界とつかかる 魅力創造都市

TOKONAME CITY

1 概要

(1)計測方法について

- ▶ 運転手が目視で便毎の利用者を計測しており、月毎に運行会社から報告されます。
- ▶ 測定は便単位で、乗車した区間が全区間でも一部だけでも、同じ1人として計上されます。
- ▶ 3月から、システムにより停留所ごとの乗降者数を把握し、地域公共交通計画策定や、ダイヤ・路線見直し時の基礎数値として取扱う予定です。

(2)実績について

- ▶ 1日あたり約770人が利用しています。
- ▶ 1便あたりの利用者は12月に若干減少しましたが、冬休みや年末休みの影響を考慮すると、 増加傾向が続いていると考えられます。

常滑北部・市役所線 常滑北部・大野線

- ◆ 市役所線は転換前に比べて増 便し、休日も運行するように なりました。
- ◆ 大野線は鉄道へのアクセスと して、朝夕に新設しました。
- ◆ 他の路線と比べ始発から終点 まで約1時間と長いのが特徴 です。

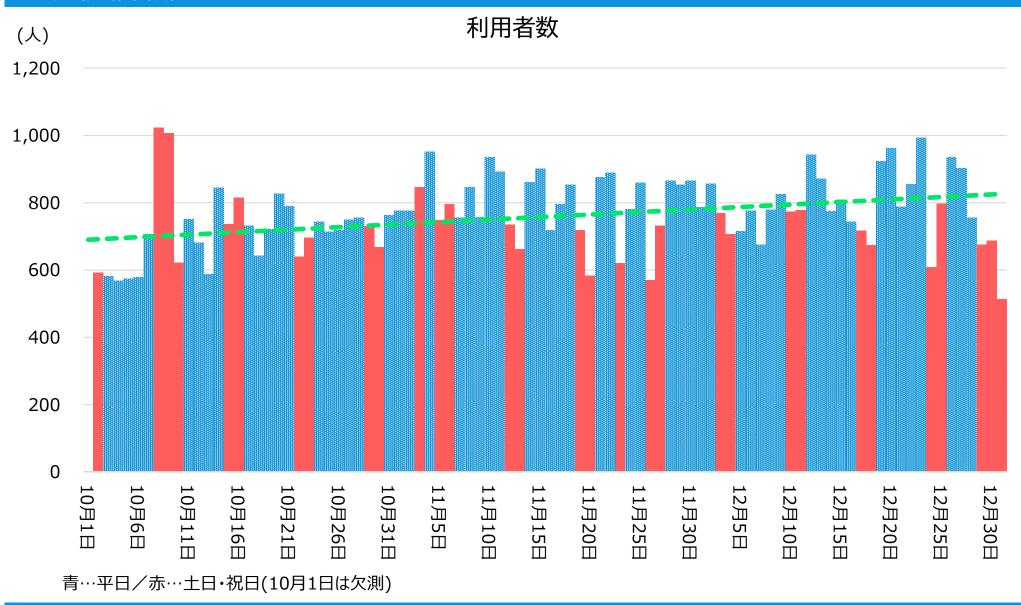
常滑中部・市役所線 ボートレースとこなめ周遊線

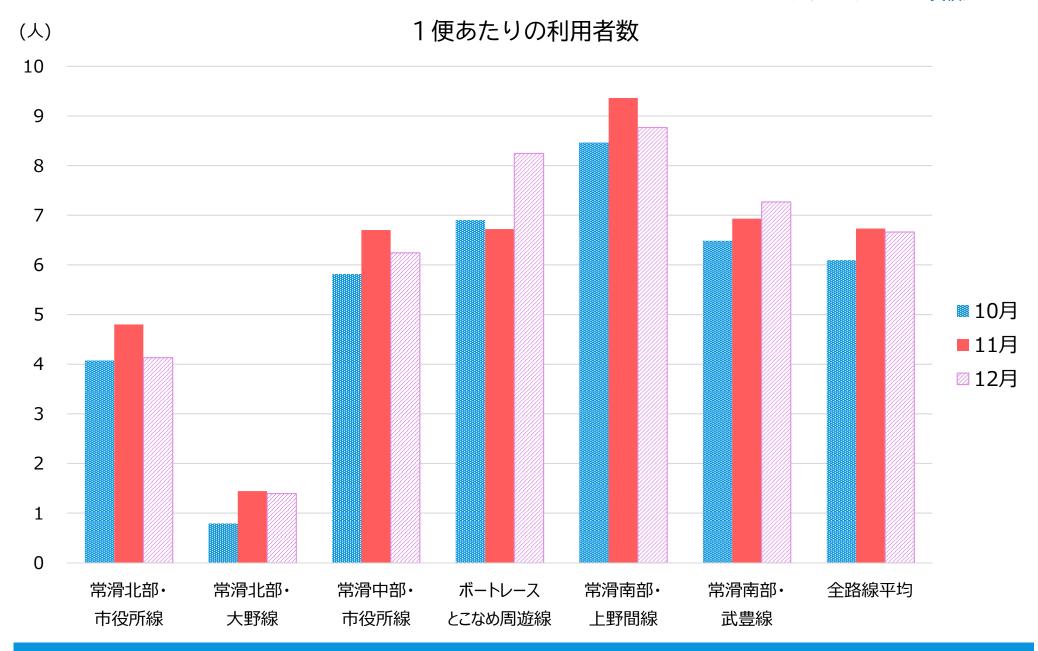
- ◆ 市役所線は平日の利用が多く、 通勤・通学路線となっていま す。
- ◆ 周遊線は休日の利用が多いの が特徴です。
- ◆ 時間帯や日によって利用の差があるため、より詳しい分析が必要です。

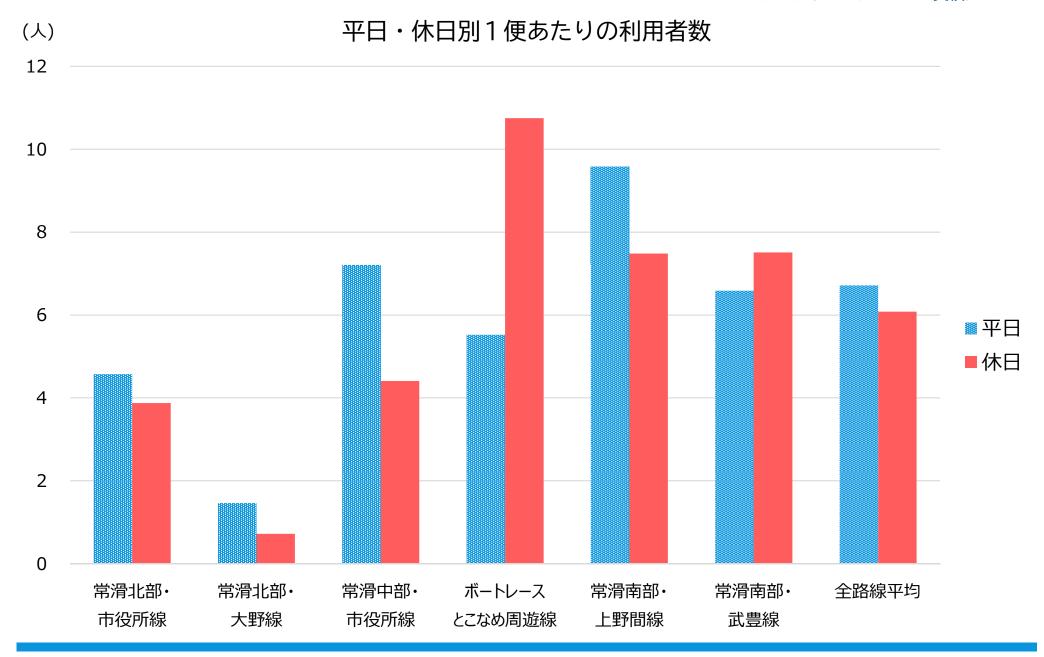
常滑南部・上野間線 常滑南部・武豊線

- ◆ 知多バスを転換し、武豊方面 の路線を新設しました。
- ◆ 常滑駅〜古場は、転換前に比べて増便しましたが、古場〜 上野間は減便になりました。
- ◆ 上野間線、武豊線とも1便あ たりの利用者が全路線の平均 を上回っています。

2 実績(詳細)







コミュニティバス グルーンの実績について

